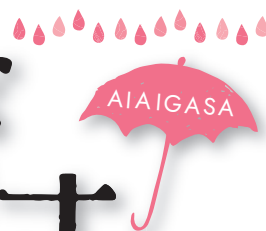


RENEWAL!!

始良市議会だより

あいあいがさ



12月
定例会
No.45

令和4年2月28日発行



p2

10年先も、残り続ける感動を

p4

税金の使い方を確認！

p10

市民目線で13人が市政を質す

p15

議長を偲ぶ

p16

地元の誇り 加治木石

購入した魚は希望でさばいてもらえる



年末ぶりかんばち販売会
鹿児島県漁業協同組合 錦海支所

現役プロ野球選手による野球教室



亜細亜大学出身の現役プロ野球選手・OB選手による野球教室は、コロナ感染対策がしっかりとられる中、昨年12月18日、200名を超える小中学生が参加して開催されました。

ビーラインスポーツパーク始良(総合運動公園)



元巨人木佐貫洋選手と一緒にストレッチ

10年先も、 残り続ける 感動を



ソフトバンク松田宣浩選手の熱い指導

生田勉監督は、「年々野球人口が減少している。このような野球教室を通じて、プロもアマも改革していかないと語る。」



現役プロ野球・OB選手等の指導者と亜細亜大学硬式野球部監督

令和3年第4回定例会

11月26日～12月17日(22日間)

- ・決算認定
- ・補正予算等

令和4年第1回臨時会

1月7日

- ・コロナ関係補正予算等

この教室は、議会において開催に対する共通理解が得られず、令和3年度当初予算案は異例の否決となりました。(減額修正案を臨時会で可決)

その後、県の新たな補助金の内示や開催を求める署名提出があり、6月議会に再提案されました。

コロナ禍での実施時期が争点となり、修正動議が出されるなど議論が白熱しました。

原案可決後、始良市議会として初めての付帯決議(第43号議会日よりP2)を可決しました。

子どもたちの笑顔あふれる教室となり、この感動は10年先も残り続けることでしょう。

議長に谷口 義文議員 副議長に和田 里志議員 を選出



副議長

和田 里志



議長

谷口 義文

東馬場弘議長の急逝にともない、令和3年第4回定例会の最終本会議で選挙を行い、議長に谷口義文議員を、副議長に和田里志議員を選出しました。

議長は「市民の利益を第一にした議会運営」を、副議長は「さらに親しまれ、期待されるような議会を」との決意表明をしました。

また、「新庁舎建設とまちづくり等調査特別委員会」の新委員長に吉村賢一議員、副委員長に堂森忠夫議員が就任しました。

就任の挨拶

常に明るく前進する議会に

議長 谷口 義文

この度、4月の改選を控え残り少ない任期の中、第7代議長に就任いたしました。東馬場弘前議長のご逝去に、改めて心よりご冥福をお祈り申し上げます。

昨年は、入院加療中の前議長に代わり、慣れない職責を担いましたが、無事にその任を果たすことができました。今回、前議長のやり残された思いとともに、本市の益々の発展と、誇れる議会の構築に努める覚悟であります。

この2年間、コロナ禍の厳しい状況下、「新庁舎建設とまちづくり等調査特別委員会」の委員長として、新庁舎建設という大事業に関わる事ができました。昨年末の起工式とともに工事ははじまりましたが、完成は令和5年度末を予定しています。この間、関係各位のご協力とご尽力に心より感謝申し上げます。

第一回定例会では、新年度予算の審議が控えております。本市においては、引き続き厳しい財政状況が続くと思われませんが、始良市民が「安心して幸せに暮らせること」を基本とし、「市民の利益を第一」と捉え、議会運営に誠心誠意取り組む決意であります。

市民のためにあるべき議会の基本を再確認

し、執行部とは車の両輪のごとく本質をしっかりと見極め、是々非々でその務めを果たしていくことが責務と考えます。

議長は常に中立の立場にあり、偏ることなく議員相互の融和を図り、少数意見にも耳を傾け活発で有意義な議論を展開できる環境づくりに努め、常に明るく前進する議会を目指して参ります。

最後になりますが、穏やかな暮らしが早く戻ってくれることを願い、誰もが安心して幸せに暮らしていきますよう、議会としての務めを果たして参ります。

今後とも一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和2年度 決算をチェック 税金の使い方を**確認!**



一般会計歳出総額 418億円

特別会計歳出総額 176億円

管理のいきとどいた天然芝のサッカー場(ビーラインスポーツパーク始良)

審査の視点

私たちの納めた税金がどのように使われたか確認するため、決算審査特別委員会を設置し、総務・文教厚生・産業建設の所管ごとに審査し、賛成多数で認定しました。

始良市の経常収支比率は96・2%であり、前年度よりわずかに数値は下がりましたが、厳しい財政状況は続いています。

決算は一年間を振り返り、新しい年度に向けての予算編成の基本となるものです。常に3つの視点を念頭に審査しています。

・適正に予算が執行されているか

・期待した行政効果が得られているか

・今後、改善を要する点はないか

さらに、令和2年度決算は「新型コロナウイルス感染症対策」を新たな視点に加えて審査を行いました。

今後はウイズコロナ時代に即した市政運営を進めることが重要です。

経常収支比率とは

経常的収入(毎年度決まって入ってくる収入)において、固定的に支出しなければならぬ経費(人件費・扶助費・公債費・公共施設の維持管理経費等)が占める割合。70～80%が理想。

決算審査総括



決算審査特別委員長
犬伏 浩幸

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により不要不急の外出の自粛、学校の休業、イベントの中止や延期、地域経済の停滞など市民生活に多大な影響が及んだ。

そのような中、執行部においてはワクチン接種等の対応、子どもたちの学びの確保や地域経済への支援策等を実施し、市民の不安解消や負担軽減に尽力した。

しかし、依然として財政の硬直化が進み、より一層厳しい財政運営が予想される。

限られた財源の中で、誰一人置き去りにすることのない質の高い市民サービスを提供するためにも、費用対効果を念頭においた事業実施に努め、効果的・効率的な市政運営を行うことを要請する。

総務班

プレミアム商品券事業、事業継続支援金給付事業、蒲生分遣所女性エリア増改築工事、ふるさと始良応援寄付金事業等を中心に審査しました。

評価する点

- ・ふるさと始良応援寄付金事業は、前年度と比べて3倍以上の寄付額となり自主財源の確保が図られた。
- ・特別定額給付金事業は、速やかに混乱もなく給付が行われた。

指摘事項

- ・消防職員の5%を女性吏員とする国の指針に従い、計画的に増員を図るよう努めること。

主な質疑

問 蒲生分遣所増改築工事（女性エリア）について、使用状況を示せ。

答

令和3年4月から女性消防吏員を1名配属して使用している。また操法大会では、トイレを開放している。



蒲生分遣所増築

文教厚生班

市民生活に直結する事業が多いため、新型コロナウイルス感染症拡大による市政・市民生活への影響を念頭に審査しました。

評価する点

- ・「子どもたちの学びを止めない」とし、徹底した感染対策で事業を遂行した。
- ・コロナ交付金が有効活用されたばかりでなく、トイレの洋式化など長年の懸案事項も解消できた。

指摘事項

- ・ワクチン接種において情報発信の量や速度に対し、二層の充実を求める。
- ・私立保育園等の給付事業は説明も不足し、予算管理に甘さがうかがえる。

主な質疑

問 建昌・帖佐小のレバー式手洗い器設置と、各学校のトイレ洋式化の効果を示せ。

答

レバー式は接触面も少なく衛生的。また洋式化により安心してトイレにいけるようになった。



レバー式手洗い

産業建設班

市営住宅の入居率と整備計画、市道整備、森林整備にかかる事業の実施状況、鳥獣対策事業の成果等に注目しながら審査しました。

評価する点

- ・活動火山周辺地域防災営農対策事業は、降灰に特化した事業で今後も推進してほしい。
- ・スマートーCや宇都トンネルの供用開始は、市民の評価と期待が高まった。

指摘事項

- ・入居率の低い市営住宅の活用に対し、入居要件の改定等、条例等の整備を行うべきである。
- ・山の管理のために土地台帳の整理をスピードアップすること。
- ・鳥獣対策事業は選択捕獲のデータ活用と、住民に寄り添った解決方法を検討すべきである。

主な質疑

問 住宅使用料の滞納に対する対応と、蔵王住宅の改修後の入居率を示せ。

答

高額滞納者には、法的措置の準備を進めている。改修後の入居率は伸びていない。



市営住宅

暮らしやすい
まちづくりへ

議会の判断



補正予算総額 **33億2929万円** を可決!

12月定例会 コロナを乗り切るための補正予算

◎ワクチン3回目接種のための追加予算 **4億1816万円**

内容 ・ ワクチン接種委託料、接種券発送費、コールセンター設置費など



◎子育て世代へ5万円の年内 給付のための費用 (12月17日可決)

7億5500万円

内容 ・ 子ども1人当たり10万円給付の内、令和3年12月中の給付分及び通知等に係る費用



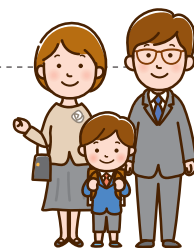
臨時会 (1月7日) 補正予算

◎子育て世代へ残り5万円の給付のための費用 **7億5303万円**

内容 ・ 子ども1人当たり10万円給付の内、令和4年の給付分及び通知等に係る費用

◎入学等支援金 **2360万円** (市独自)

内容 ・ 6歳・12歳・15歳児の入学等の費用に一人1万円を支援



◎住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 **11億8680万円**

内容 ・ 非課税世帯等に10万円を給付する費用及び通知等にかかる費用

コロナ以外のピックアップ事業

①移住・交流推進事業 **160万円** 東京圏からの移住者を支援

内容 ・ 「かごjob」に掲載された法人等に就職又は移住前の業務をテレワークなどで継続しながら始良市へ移住された方に交付する移住支援金

議員間討議

- ・ どんどん鹿児島移住就業・起業支援事業補助金はとてもいい事業である。IU・Jターンに繋げるためにも、もっとPRすべきである。
- ・ 始良市出身の421名の就職希望業種アンケートの中で農林業に関心のある人が17名おられたとのこと。地区や業種によっては人手不足であるためもっと促進してもらいたい。

②通行支障物回収委託 (猫などの小動物の死骸回収) **19万円**

内容 ・ 市道上の猫などの小動物の死骸を回収するための委託料で昨年より月平均20%ほど件数が増えているための増額補正

議員間討議

- ・ 猫などペットの管理について悲しい事故が起こらないよう周知啓発を行ってほしい。
- ・ 対処について、道路緊急ダイヤル (#9910) の活用などもっと情報発信してほしい。

過疎地域持続的発展計画

「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が施行され、蒲生地区が一部過疎地域に指定されました。計画の策定により、蒲生地区内で実施される様々な事業に過疎対策事業債等の財政支援措置を受けることが引き続き可能となりました。

答

問

従前の「過疎地域自立促進計画」で積み残された課題と、それをもとに新たに設定された課題を示せ。

蒲生地区では、4次にわたって過疎法の指定を受け、地域の活性化や自立促進を計画的に行ってきた。

しかしながら、依然として若年層を中心とする人口流失と急速な高齢化が進行している。「日本遺産魅力発信推進事業」など新たな人の流れを創出する取り組みを推進し課題解決につなげたい。



新たな人の流れの創出が期待される蒲生麓地区

公の施設の指定管理者の指定

公の施設の指定管理者一覧表

	施設名	指定管理者		施設名	指定管理者
再	松原地区公民館	松原なぎさ校区 コミュニティ協議会	再	加治木農産加工センター	加治木農産加工
			再	蒲生農産加工センター	蒲生農産加工
再	始良弓道場	始良弓道部	再	上名地区農村振興センター	上名地区 むらづくり委員会
再	蒲生弓道場	蒲生弓道部	再	蒲生物産館くすくす館	蒲生の恵み協同組合
再	始良高齢者福祉センター	始良市社会福祉協議会	新規	龍門陶芸・健康の里	ALグループ
再	加治木福祉センター	始良市社会福祉協議会	新規	始良体育センター	ALグループ
再	蒲生高齢者福祉センター	始良市社会福祉協議会	新規	蒲生体育施設	ALグループ
再	加治木ふれあいセンター	始良市社会福祉協議会		・蒲生体育館「おおくすアリーナ」 ・大楠運動公園球技場 ・大楠運動公園多目的屋内運動場	
再	さえずりの森	NPO法人 四季の会	新規	始良市総合運動公園 (ビーラインスポーツパーク始良)	セイカスポーツセンター・ 県サッカー協会共同事業体
再	始良生活改善センター	北山校区 コミュニティ協議会			
再	始良農産加工センター	始良農産加工			
再⇒再指定		新規⇒新規指定			

こんな意見が
出ました

- ・限られた時間で選定委員会の審査過程を全て把握することは難しい。
- ・今後は特別委員会を設置して審査することも考えるべきではないか。
- ・選定委員会には、さらに公平かつ厳正な審査・選定に努めるよう要請する。

契約

本庁舎建設 工事請負契約議案を可決

始良市役所本庁舎新築工事に伴う4件の工事請負契約締結に関する議案を、12月3日の本会議で可決しました。

工期は令和3年12月4日から令和5年12月4日となります。

建築一式工事

フジタ・渡辺・福永特定建設工事共同企業体
35億2074万8000円

電気設備工事

九電工・カミヅノ電気・明興テクノス特定建設工事共同企業体
7億9420万円

給排水衛生設備工事

中央・ナカタマリ特定建設工事共同企業体
2億680万円

空調設備工事

旭工業・あいら工業・大洋水道
特定建設工事共同企業体
5億7420万円



請願

「病床」「病院」「医療従事者」の安定した確保を求める意見書に関する請願

請願者 柏木 直義
紹介議員 有川 洋美

趣旨

- ・国に意見書提出を要請する。
- ・病床確保のための措置。
- ・病院統廃合ではなく、地域の特色に対応した対策を取る。
- ・医療従事者が安心して働ける環境を目指すこと。

審査の経過

6月定例会に提出されましたが、請願者には個人の考えによるばかりではなく、他の市民にも広く意見を求めることとし、継続審査としました。

その後、変化が見られなかったため、不採択と決しました。

賛成討論 堀 広子

令和3年5月、病床削減を推進する法律が採択された。削減計画は見直し、病床確保すべきである。

賛成討論 有川 洋美

個人による請願権は憲法で保障されている。請願内容は、国において必要な政策である。

不採択

賛成 10名 反対 11名

陳情

川内原発20年運転期間延長に伴う課題の調査・研究、議論などを求める陳情

陳情者 野呂 正和

趣旨

川内原発20年運転延長に伴う課題について、調査・研究に取り組み、議論を行い、市民への情報提供に取り組んでいただきたい。

審査の経過

9月定例会に提出された陳情でしたが、継続審査となりました。その後、委員会でも川内原発の視察を行いました。

市議会での権限事項を超えている。

原子力規制委員会や専門家の判断を見守りたい。

以上のような意見が出され、不採択と決しました。

賛成討論 有川 洋美

始良市は、原発立地の薩摩川内市に隣接しており、避難者受け入れ自治体でもある。

川内原発20年運転期間延長に伴う課題の調査・研究・議論・情報提供は必要であると考え、賛成とする。

不採択

賛成 5名 反対 16名

12月定例会ではこんなことが決まりました



●提案された案件

□ : 全員賛成

□ : 賛成多数

□ : 賛成少数

議案番号	件名	結果
議案第64号	令和2年度始良市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第65号	令和2年度始良市国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出決算認定について	認 定
議案第66号	令和2年度始良市国民健康保険特別会計施設勘定歳入歳出決算認定について	認 定
議案第67号	令和2年度始良市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第68号	令和2年度始良市介護保険特別会計保険事業勘定歳入歳出決算認定について	認 定
議案第69号	令和2年度始良市介護保険特別会計介護サービス事業勘定歳入歳出決算認定について	認 定
議案第70号	令和2年度始良市農林業労働者災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第71号	令和2年度始良市水道事業会計決算認定について	認 定
議案第72号	令和2年度始良市下水道事業会計決算認定について	認 定
議案第74号	専決処分について承認を求める件（令和3年度始良市一般会計補正予算（第9号））	承 認
議案第75号	専決処分について承認を求める件（令和3年度始良市一般会計補正予算（第10号））	承 認
議案第76号	始良市過疎地域持続的発展計画策定の件	可 決
議案第77号	始良市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例制定の件	原案可決
議案第78号	始良市過疎地域自立促進基金条例の一部を改正する条例の件	原案可決
議案第79号	始良市企業立地促進条例の一部を改正する条例の件	原案可決
議案第80号	始良市国民健康保険条例の一部を改正する条例の件	原案可決
議案第81～98号	公の施設の指定管理者の指定に関する件（詳細は7ページ）	可 決
議案第99号	工事請負契約の締結に関する件（始良市役所本庁舎新築工事）	可 決
議案第100号	工事請負契約の締結に関する件（始良市役所本庁舎新築電気設備工事）	可 決
議案第101号	工事請負契約の締結に関する件（始良市役所本庁舎新築給排水衛生設備工事）	可 決
議案第102号	工事請負契約の締結に関する件（始良市役所本庁舎新築空調設備工事）	可 決
議案第103号	令和3年度始良市一般会計補正予算（第11号）	原案可決
議案第104号	新市まちづくり計画（合併市町村基本計画）の一部変更の件	可 決
請願第3号	「病床」「病院」「医療従事者」の安定した確保を求める意見書に関する請願書	不 採 択
陳情第2号	貴議会での「川内原発20年運転期間延長」に伴う課題の調査・研究、議論などを求める陳情書	不 採 択
議案第105号	損害賠償の額の決定及び和解について	可 決
議案第106号	始良市長等の給与の減額に関する条例制定の件	原案可決
発議第5号	始良市議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決

議員ごとの賛否については、始良市議会のホームページをご覧ください。





国生 卓

志成会



不登校
防止対策の取り組みを
示せ
 教育長 別室登校支援等に取り組んでいる

問 教育委員会・学校・保護者の連携した不登校防止対策の取り組みを問う。

答 不登校状態にある児童・生徒に対して、教職員が寄り添うことを基本として、家庭訪問や学習支援、また、別室登校支援等に取り組んでいる。

問 不登校生を支援するスクーリングサポート推進事業の成果と課題を問う。

答 学校への復帰を促すために相談及び指導を行う、適応指導教室を設置している。



元気に登校する児童(蒲生小学校)

新たな過疎計画

問 始良市基本方針の蒲生地域特性に応じた施策を示せ。

答 始良市過疎地域自立促進計画に掲げた事業を継続するとともに、新法の理念や目的に沿った各種施策、事業を計画的に推進していきたい。

市長選挙

一期目の総括と今後の対応

市長 2期目を目指して邁進



和田 里志

市政クラブ始輝



問 これまでの市政運営をどのように総括するか。

また今後の対応について問う。

答 「始良市総合計画」の目標達成に向け、各種施策を展開してきた。その成果もあり、「住みこころランキング」鹿児島県版では、2年連続1位を獲得することができた。

特に「全天候型子ども館」整備の着手は、「安心して子どもを育てることができる支援」を実現する大きな一歩と認識している。

任期の半分以上が、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた市政運営となり、掲げた政策が道半ばであるため、引き続き先頭に立って、本市の発展に尽くして参りたい。

問 先の公約以外で、新たに取り組みたい事項はあるか。

答 安全安心な市民生活を守るため、防災の部分にさらに力を入れていきたい。



4月実施予定の始良市長・市議会議員選挙

その他の質問

- 契約事務の適正な執行と議会の検査機能の充実



一般質問

市民目線で13人が市政を質す

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。掲載内容は、各議員本人が質問と答弁を要約したものです。



二次元バーコードをスマートフォンのQRコードリーダーで読み取ることによって、一般質問の録画中継がご覧いただけます。



医療費

高校生まで無料

市長 総合的に検討する



森川 和美



問 過去に質問、提案した高校生の医療費無料化について、どのように検討したか。

答 本年4月から非課税世帯の高校生までを対象としている。

今後、持続可能な制度運営や近隣の自治体などの状況も注視しながら検討していく。



早く無料化してほしいなあ

養育費不払い問題

問 離婚の際、養育費不払いは、ひとり親世帯を窮地に追い込んでしまう。

本市のひとり親世帯に、迅速に手を差し伸べる公的支援の構築が必要ではないか。

答 市も離婚届の用紙と共に、養育等に関する資料を渡すなど、啓発に努めている。

今後支援については、国の動向を注視していく。

その他の質問

- 地域類型に適した対策
- 高校生への通学助成
- 敬老金支給見直し
- 教育関連施設整備の充実



萩原 哲郎

志成会



市長 他に23か所10数年期間が必要

道路整備の進捗状況

市道並木東線沿線

問 市道並木東線沿線に23世帯が住んでいた。今年に入り7棟の一般住宅と24世帯の共同住宅が完成した。交通量も増え、トラブルが発生する前に道路整備を住民は望んでいる。早急の整備が必要、進捗状況を問う。

答 市内の要望箇所がほかに23か所あるため、本事業を実施するまでには、相当の時間を要する。

問 6月定例会一般質問に対して「早期事業化に努めていく、今しばらくお時間を頂きたい」との回答であった。今しばらくの期間はどの位か。

答 今の補助事業を活用したときは、10数年くらいかかる。



共同住宅が完成し交通量も増え道路整備が必要

道路整備と住居表示

問 始良ニュータウンは、造成以来42年が経過し、道路の傷みが酷い。今後の道路整備を問う。

また、住居表示が経年劣化で剥がれている。住居表示の考えを問う。

答 道路整備は、全面的な補修が必要な箇所は、予算の範囲以内で補修工事を行っている。

住居表示は、今後、順次取り換える方向で準備を進める。

その他の質問

- サボランドパーク始良の公園維持と道路整備

発展・活性化

経済支援の成果は

市長 支援金など基本条例を政策に反映



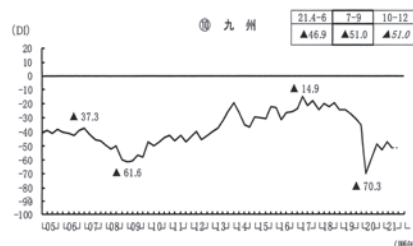
鈴木 俊二

市政クラブ始輝



問 始良市中小企業・小規模企業振興基本条例が制定されているが、コロナ禍で多くの企業は厳しい経営を強いられている。今この条例がどのように生かされ、そして今後10年をどのように生かしていくのか見解を問う。

答 コロナ禍においては、金融機関との情報共有や商工会との連携で、融資や寄付金の速やかな処理・申請が行え、条例制定の効果が出ている。また事業継続支援金やプレミアム商品券などの政策に反映させている。今後も商工会等との情報共有や意見交換など連携を深め、中小企業等の振興に努める。



データで見る経済状況(日本政策金融公庫総合研究所)

若者(18歳から40歳程度)政策

問 将来を担う若者たちのため、市がリーダーシップを取り、若者応援基本条例を制定せよ。

答 若者などの意見を市政に反映させることは同感であり、各種計画や政策を考えていく際に、若い世代の意見を反映すべく取り組む。

ピンチの自治会

官民一体型の活性化を

市長 地域協働の事業に助成する



堂森 忠夫

志成会



問 高岡公園周辺自治会は、景観は良いが高齢化でピンチ状態だ。SDGs活動と連携・協働し、官民一体型の開発や活性化に取り組めないか。

答 第2期市総合戦略の着実な推進により、SDGsの達成を目指す。本年度からは、企画提案型まちづくり事業補助金を創設し、校区コミュニティ協議会が地域活性化に自らが考え、地域住民が協働して実施する事業に対し助成する。

永原校区コミュニティ協議会から事業実施に係る補助金申請が提出され、承認した。



永原校区の地域協働型のバザーイベント風景

くすの湯温泉利用拡大対策

問 食堂部門の運営が決まらない状態だが、利用拡大の対策を講じられないか。

答 食堂は前回応募の1事業者と10月29日に出店契約が整い、開業に向けて準備を進めている。

くすの湯の魅力を生かせるよう、さらに検討を進める考えである。



上村 親

市民くらぶ



市長 人件費の縮減

財政健全化対策

財政状況

問 基金の現在残高で公共事業の執行ができるか。

答 扶助費の増加や公債費の高止まりは続くので建設事業の実施時期を検討し、地方債の借入額を抑制する。

問 本市の財政運営を示す財政シミュレーションの作成は必要と思うか。

答 長期財政計画の必要性は感じているが、社会情勢や国の政策・制度の変更等で計画作成が困難である。



多額の費用を要した宇都トンネル

問 歳出削減策や具体的取り組みをどうするのか。

答 組織・機構や事務事業の見直しによる人件費の縮減、扶助費給付の適正化、普通建設事業費の財源確保と事業量の検討、各種補助金等の適正化、公共施設の効果的運営に取り組む。

問 5年間の財政見通しの推計で財政調整基金が枯渇しないか。

答 財政健全化に向けた取組を進めることにより、基金が枯渇することのないような財政運営を行っていく。

始良市の観光

今、基礎を整備すべき

市長 見所を結ぶコース選定で連携を図る



吉村 賢一

市民くらぶ



問 コロナ禍だが日常がいつ戻ってきてもいいように、今から訪問客の為の環境整備の必要がある。加治木八景に対し、始良市八景を公募選定したらどうか。

答 ネット上への観光地投稿やインスタ映えする画像や動画投稿の機会づくりなどを考えている。

また、魅力と感ずる素材が数多くあることから、特定の場所を限定して、選定する予定はない。

問 麓は帖佐、仮屋町、平松、下名にもある。

各地域をどう生かすか。

答 この風景を残すには、地域の方の考えを考慮することが重要なので、声を聴きながら研究する。

問 貸し自転車は既に取り組んでいるが、ルート紹介・自転車道整備・標識の充実を求めたい。

答 観光庁支援事業の結果を踏まえ、市内全域の周遊コースの検討をするので、市も情報共有し、見どころを結ぶコース選定で連携を図る。



電動アシスト付自転車でこれから市内サイクリング

その他の質問

● 農林業の今後

子ども医療費無料化

高校生まで拡充図れ

市長 総合的に判断



堀 広子



問 子どもの医療費を高校卒業まで無料化する自治体が増えている。本市でも実施すべきではないか。

答 近隣の自治体など状況を注視しながら総合的に検討していく。

問 県内では高校生まで助成している市町村は31市町村ある。その内高卒まで無料の自治体は何箇所あるか。

答 28か所ある。

問 本市は他の自治体より遅れている。学校でのケガなどは学校スポーツ保険で適用され、財政の影響が少ない。少子化対策、子育て支援として検討する考えはないか。

答 さまざまな状況、社会情勢を考え調査・研究していく。



高校生まで子ども医療費無料化を

介護保険料

問 介護保険料の基金約5億6千万円を活用し、市民の負担を軽減できないか。

答 介護保険料の引き上げは、慎重な検討が必要である。

その他の質問

- 新型コロナウイルス感染症対策
- 米価の下落問題



新福 愛子

公明党始良市議団



市長

成長に応じた支援を実施

支援の取り組みと課題

低出生体重児

問 これまでの支援の取り組みを問う。

答 子どもの退院後の家庭訪問等で継続的な状況把握や育児への助言、医療機関等と情報共有し成長に応じた支援を行っている。

問 全国で広がっているリトルベビーハンドブック(LBH)に対する認識を問う。

答 県の「母子健康手帳すくすく」を活用していきたいが、LBHは有効だと考えるので今後導入について調査・研究していく。



（上）各地のLBH、（下）既存の県母子手帳（下）誕生した保護者の会「ゆるり」

子宮頸がんワクチン

問 8年ぶりに接種勧奨が再開される子宮頸がんワクチンに対する本市の取り組みを問う。

答 昨年10月に国の通知を受け、全対象者にリーフレットを送信した結果、44人が接種された。

今後も個別に確実な周知に努め、検討が始まった接種を逃がした方への対応も内容が示され次第、速やかに対応する。

その他の質問

- 女性に配慮したAEDの利用促進

マイボトル

無料給水機の設置

市長 先進事例を調査研究



竹下 日出志

公明党始良市議団



問 ペットボトルごみ削減と熱中症対策として、マイボトル対応型の無料給水機を公共施設に設置できないか。

答 ペットボトルごみ削減に向け、身近に行うことができるマイボトル使用について、広報・啓発を行う。市の施設への設置については、市民のニーズの把握やコロナ禍で衛生面などの課題もあり、先進事例を調査・研究する。



JR鹿児島中央駅前広場観光案内所の無料給水機

市税のスマートフォン決済案内

問 コンビニや金融機関で納付書払いをしている市税などが、いつでもどこでも、スマートフォンから専用のアプリを使い支払いができるようになった。今後、市民の皆さまへの広報・周知をどのように考えるか。

答 市報や納税通知書の発送の際、お知らせ文書等で案内や広報をする。

その他の質問

- 健康チケットあいあい



始良市発展のキーワード。温故知新。活発な質疑応答は久し振りに拝聴した。



各議員の方々、市内の日常や不便な事など、始良市向上のため活動されていると思った。今後も沢山発言してもらいたい。



福祉と教育の交差した所…でお互いに協力もしていないで、もう少し横のつながりをもって子どもの未来を明るくものにしていけないのでしょうか？横のつながり、上下、それぞれが上手く立場を守りながら、よりよい始良市になっていってほしいものです。



給食費無料について材料費は児童の保護者負担という執行部答弁の趣旨はわかった。それでも困った状況にある方々への対応について、コロナ禍にある現在、市民の声をもっとこまやかに聞く姿勢が大事なのではと思います。



有川 洋美



教育長 実施する考えはない

学校給食費 コロナ禍特例で 給食費無償化

問 コロナ禍において貧困・格差が広がり、子どもたちにも影響を与えている。学校給食費無償化、または、期間を設けてコロナ禍特例（財源はコロナ給付金）で給食費無償化はできないか。

答 学校給食法に基づき、食材費のみを保護者から徴収している。要保護家庭には全額、準要保護家庭には8割を支給している。実施する考えはない。



すべての子どもたちの給食を無料に

介護予防・日常生活支援総合事業（通いの場）

問 令和2年第4回定例会にて「通いの場」に係る陳情が採択されている。「通いの場」普及に向けて、どのように事業を進めていくのか示せ。

答 具体的な進め方については協議体や陳情、地域の意見などを参考にし、令和4年度からの見直しに向けて取り組んでいる。

その他の質問

- 海辺環境の保全

地域の生活

環境・景観等の保全

市長 県と連携し状況改善を求める



湯元 秀誠
市政クラブ始輝



問 市内に、「家電リサイクル法」の対象家電等が大量に野積みされている。その敷地内に埋設された燃料タンクの存在が疑われる。環境保全の対処法を問う。

答 事業者への聴収では、「らしきものがある」と確認している。消防法では危険物施設として設置許可、撤去など厳しく義務づけられている。県と連携を図りながら所有者、事業者へ状況改善を求めている。

空き家バンクの災害対応

問 令和元年9月発生の火事の被害者は空き家バンク制度の活用で購入された。この事業に災害補償制度は設けられないか。

答 県内、市町村の空き家バンク制度では火災保険加入状況はほとんど未加入である。火災保険加入を義務化することでバンクへの登録が減る可能性も見込まれるため、引き続き検討する。



移住直前に火災に見舞われ放置状態の現場

東馬場前議長を偲んで

始良市議会第6代議長東馬場弘氏（69歳）が、去る令和3年12月11日に急逝されました。

東馬場氏の逝去に際し、告別式において谷口副議長（当時）が弔辞を、12月17日の最終本会議では湯之原議員が別れの言葉、また湯元市長が弔辞を読まれました。

その一部を掲載し、ご報告とさせていただきます。



東馬場 弘 氏（ひがしば・ひろし）

平成15年～ 旧加治木町議会議員（連続5期18年）
産業文教・議会運営委員長、副議長
など多くの役職を歴任

令和2年5月～ 第6代議長

「弔辞抜粋」

谷口義文 副議長（当時）

12月3日の本会議は、いつものとおり変わりなく肅々と進行されておられました。まさか、それが最後のお姿になるうとは、夢にも思っていませんでした。

あまりに早すぎる旅立ちに、残されましたご遺族のご心中を察すると、余りあるものがあります。

温厚で明るい人柄と持ち前の正義感、同僚議員を始め、広く市民の皆様からも厚い信頼を得ていました。

心からご冥福をお祈りするとともに、どうか安らかに眠りください。

「別れの言葉抜粋」

議員代表 湯之原 一郎 議員

あまりにも突然のお別れをすることになり、この気持ちを表現する言葉を見つけれません。

議長職は、はた目からは議会を代表した華々しい役職に見えるかもしれませんが、一方で目に見えない重圧と責任に、身も心も憔悴してしまうことも度々あったかと思えます。

私たちの任期も残すところ4か月余りとなりましたが、議長の目指された市民目線に立った議会の実現を、最後まで希求して参ります。どうぞ、安らかに眠りください。本当にありがとうございます。

ふるさとの誇り

加治木石

加治木石は火山の噴出物が堆積したもので地元の各所で採石されていた。

採れる場所により呼び名も異なりその性質や見かけも異なる。蔵王嶽の麓で採れる「二瀬戸石」が知名度も高く、色は肌色や黄色がかったのもあり、表面は気泡穴があり、熱に強く加工し易い。

加治木町では旧市街地(仮屋町、岩原、萩原、諏訪辺り)に石門、石蔵、石塀、石庭が見られるが、中でも森山家土蔵や旧郷土館付属石造倉庫は有名である。



仮屋馬場筋



家裁加治木支部



旧池田医院



解体中の石蔵



石蔵内部

鹿児島地方家庭裁判所加治木支部は先般改築されましたが、昔の石積は一部再現されています。加治木石は、現在も取り壊された石材が再加工され、あいら斎場(悠久の杜)にも使用されています。

編集後記

昨年発行の第42号から「あいあいがさ」の愛称でお届けして参りました議会だよりも、4月の改選を控え、このメンバーでの編集・発行作業は最後となりました。

議会における広報活動の重要性に鑑み、諸先輩方が築かれた編集方針を引き継ぎ、かつて日本一に輝いたことのある「議会だより」の歴史を汚すことの無いよう、愛称の募集や紙面のリニューアルを行い、誰にとっても見やすく読みやすい書体(UDフォント)を取り入れるなど、工夫を凝らして参りました。

また、限られた予算と紙面の中で、より親しまれる議会を目指し、その活動や議論の様子を取り上げ、わかりやすく掲載してきたつもりではありますが、慣れない議員の手作り紙面で、しっかりとその内容を伝えられているのか、手に取って見てもらっているのか、いつも自問自答の繰り返しでした。

この2年間、選任された広報班員として編集・発行に携われたことを誇りに思い、感謝するとともに、次回から発行される広報紙の益々の充実を期待し、代表して御礼申し上げます。ありがとうございました。

広報広聴特別委員長 和田里志

編集・発行責任者

議長 谷口 義文

広報広聴特別委員会

(広報班)

委員長 和田 里志
副委員長 有川 洋美
委員 新福 愛子
竹下 日出志
峯下 洋
田口 幸一
湯之原 一郎
鈴木 俊二
岩下 陽太郎
松元 卓也
萩原 哲郎

傍聴席へどうぞ

車いす席もあります

令和4年 第1回定例会は
2月16日(水) 開会